

CSRへの取り組み

当グループはコンプライアンス(法令遵守)や企業倫理の徹底、社会貢献などを積極的に推進し、CSR活動に取り組んでいます。

高知カシオがオゾン層保護・地球温暖化防止大賞にて受賞

日刊工業新聞社主催、経済産業省／環境省後援による「第9回オゾン層保護・地球温暖化防止大賞」にて、高知カシオ(株)が「審査委員会特別賞」を受賞しました。「オゾン層保護・地球温暖化防止大賞」は、オゾン層保護と地球温暖化防止の取り組み促進と、こうした取り組みの重要性や環境問題の現状を表彰を通じて広く周知することを目的に制定されたものです。

高知カシオは、TFT・LCD製造用装置の洗浄に使うガスを、地球温暖化係数10,800のNF₃(三フッ化窒素)から同係数1のCOF₂(フッ化カルボニル)へ替える「液晶ディスプレイ製造工程における新規クリーニングガスの実用化」に世界で初めて成功し、係数を1万分の1に圧縮したことが高く評価されました。



「エコリーフ環境ラベル」取得商品「スーパースリムプロジェクター」

厚さ43mm(最薄部32mm)を実現した「スーパースリムプロジェクター」(XJ-S35/S30)。通常モードとエコモードを切り替えて消費電力を削減できるほか、従来製品(XJ-360)と比べて製品本体で容積14%、厚さ40%を削減した省資源設計です。梱包箱についても、キャリーバッグ以外は全て紙系素材を使用し、容積で24%削減、重量で17%を削減しています。筐体にはマグネシウム合金を採用しているためリサイクルが容易で、RoHS指令の禁止化学物質も使用しておりません。同製品は、当グループで初めてタイプⅢ環境ラベル「エコリーフ環境ラベル※」を取得しました。



XJ-S35

「コーポレートレポート 2006」を発行

当グループでは、CSR活動への取り組みを、使いやすい形で提供することによって皆様により深くご理解いただくことを目指し、事業内容・主要製品などを掲載した「会社案内」と従来の「CSR報告書」を一体化し、企業活動の全般を網羅した「コーポレートレポート 2006」を発行しました。



「コーポレートレポート 2006」の特徴

- 冊子版とウェブ版を発行。冊子版には要点を絞り込んだ内容を、またウェブ版には冊子版を補足する詳細なデータを併せて収録しました。
- 前半部に「会社案内」を、後半部は「CSRハイライト」、「CSRマネジメント」、「市場とカシオ」、「地球環境とカシオ」、「従業員とカシオ」、「社会とカシオ」という章立てで構成しました。
- 特徴あるCSR活動を「CSRハイライト」として掲載しました。研究開発では「次世代燃料電池の研究開発」、生産では「2005年度日経ものづくり大賞」の受賞について、社会貢献では「一万人の工場見学」、環境保全活動では「地球温暖化防止のための2010年度に向けた取り組み」「欧州の法規制に対する取り組み」を掲載しました。
- 「地球環境とカシオ」の中で、従来の環境適合設計から、ユニバーサルデザインを意識したCSR適合設計へと拡大した製品設計への取り組みを掲載。また、「エコリーフ環境ラベル※」を取得したスーパースリムプロジェクター「XJ-S35/S30」のLCAデータを開示しました。

「コーポレートレポート 2006」は、お取引先、官公庁や環境NGOなどへ配布するほか、株主やユーザー、学生などの希望される方へも送付します。送付希望は、電子メールおよび電話で受け付けます。またカシオホームページ(<http://www.casio.co.jp/csr/>)から、PDF形式でのダウンロードも可能です。

※ エコリーフ環境ラベル…… 製品の素材・材料調達、製品製造、輸送・物流、使用、リサイクル・廃棄に至るまでの環境負荷を数値で表す手法「ライフサイクルアセスメント(LCA)」を用いて環境負荷を開示する「タイプⅢ環境ラベル」のひとつで、(社)産業環境管理協会が認定するもの。

